

## はじめに

東濃地科学センターでは、高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究開発のうち、国の計画に示された深地層の科学研究（地層科学研究）を進めています。

地層科学研究は、地下の深いところが「どうなっているのか」「なぜそうなったのか」「これからどうなっていくのか」を知るための手法を確立するためのものです。

当センターでは、地層科学研究として「超深地層研究所計画」を進めており、研究坑道などを設置して研究開発を行う瑞浪超深地層研究所を平成14年7月に着工しました。また、当センター周辺の広い範囲を研究対象とした「広域地下水流動研究」、東濃鉱山を利用した「東濃鉱山における調査試験研究」および火山、活断層、隆起・沈降などの自然現象を対象とした「地質環境の長期安定性に関する研究」を行っています。

地層科学研究は放射性廃棄物を用いる研究ではありません。また、この地域を放射性廃棄物の処分場とするための研究でもありません。

なお、ウラン資源の海外調査探鉱については、これまで確保してきたウラン鉱業権益を整理するための作業を終え、平成14年6月に業務を終了しました。

